【橋本・大島の道路安全対策】

「東橋本地域における宮上横山線について」

Q.秋本議員：境川を跨ぐ橋梁の整備が終わると、いよいよ共用開始になるのではと期待しますが、現在の進捗状況と今後の取組について伺います。

A.答弁：東橋本二丁目交差点から町田市境までの計画延長約670ｍのうち、本年度は約400ｍの整備が完了する見込み。今後は、町田市と連携して橋梁整備工事と合わせ、残る区間の工事を実施し、令和5年度末の開通を目指し進めてまいります。

［２問目］

Q.秋本議員：この路線は東橋本4丁目から町田市境にかけ高低差があり、またカーブがある線形で計画されています。こうした箇所のため交通安全対策が必要と考えますが、どのような対策を講ずるのか考えを伺います。

A.答弁：交通管理者と協議を行い、下りカーブの路面において注意喚起のための赤色の滑り止め塗装を行う予定です。

［３問目］

Q.秋本議員：整備が進むと、新たな道路と既存の生活道路に高低差が生じる。利用者のご不便を最小限にするための取組の考えを伺います。

A.答弁：高低差が大きな箇所は、新たな取付道路を整備し、こちらを使用していただく予定です。

「大島地域における県道48号について」

Q.秋本議員：大島団地南側交差点から城山のホームセンターの区間については、高校生の通学路等になっており、圏央道相模原インターに近いことから大型車も多く、地域からも危険箇所として要望が出されております。

この区間では幅員が1.5メートルの片側歩道で、車道から一段高いマウントアップ形式となっている。一部の区間では、隣接する宅地ごとに自動車の乗り入れが連続し、いわゆる波打ち歩道の状態であり、車いすの利用者や高齢者の通行に支障があり安全性に課題があると考えます。当該区間の浪打ち歩道の改修の考え方について伺います。

A.答弁：切り下げ部分の間隔が10ｍ未満の場合などを改修の対象とし、当該路線もこの考えに基づき対象箇所を抽出し、順次改修してまいります。

［要望］

当該区間の安全対策が一歩前進したことは、評価いたします。今後も、地域のみなさんの声を聞きながら、引き続き、よりベターな形での改修工事を進めていただくよう要望します。